まべちだより

令和元年
11月
vol.101



馬淵川水系
水質汚濁対策連絡協議会では、
10月24日（木）、馬淵川河川防災ステーションにおいて、油流出を想定した

オイルフェンス設置訓練を行いました

馬淵川への油流出事故に備え、青森県・岩手県・流域市町村・消防署・水道企業団などの機関から５２名が参加し、オイルフェンス設置訓練を行いました。事故発生時の被害拡大を防止し、迅速かつ的確に作業を遂行するために、油類の回収方法や注意点などを確認しました。事故は起きないに越したことはありませんが、万が一の際の正しい知識と技術を身につけるべく、参加者の方々は真剣に取り組んでいました。

このような実践的な訓練を定期的に行い、馬淵川を安全に利用していただけるよう、努めてまいります。



①吸着剤を使用して油を処理する実演訓練

説明を聞きながら、実際に吸着剤の性質を確認しました。油は、界面活性剤では処理できません！！一旦見えなくなりますが油の成分は河川に含まれたままになってしまいます。今回実演で使用した吸着剤を使う必要があるのです。





②小型側溝で油を堰き止める訓練

水路内に土のうを積み、
油を堰止めます。
↓↓↓↓↓
土のうによる堰止めのみだと上流の水が上昇して溢れる可能性があるので、下流にきれいな水だけを流す管を設置し上流側で浮いている油を吸着マットを使って回収します。







③オイルフェンス組立訓練

馬淵川などの川幅が広い場所で油が流出した場合にオイルフェンスを設置します。これにより、流出した油類の拡散を食い止めることができます。

～フェンスを正しく連結するための手順を確認しながら組み立てる参加者～







▲ オイルフェンスを固定するための杭を打ちます

④オイルフェンス展張（てんば）り訓練

今回は、浅水川放水路で２種類のオイルフェンス展張り訓練を行いました。



▼ 白いタイプのものは吸着型オイルフェンスですが ▲ フェンスだけでなく吸着マットでも油を処理します







油流出事故にご注意ください！

気温が低くなるにつれ、暖房器具の使用も多くなってきます。これからの時期、一般家庭や事業所等のタンクから油が漏れた場合、河川への流出事故が危惧されます。油が流出すると、川が汚染されるだけでなく、油類の回収に必要なマットやフェンス等の費用を事故原因者が負担することとなります。ホームタンクから給油する時は、油が漏れないよう十分ご注意下さい。

油流出を発見した場合には、直ちに河川管理者（国土交通省 又は 自治体）、最寄りの各市町村役場、消防署にご連絡ください。

まべちだより Vol.101
令和元年１１月 発行

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 八戸出張所
〒039-1103 八戸市長苗代二丁目5-8 TEL：0178-28-2626